

実施日：平成28年6月30日(木)	
領 域：特別活動	
取組名：あなたならどうする？	
対 象：3・4年	実施場所：教室
ア ねらい ・相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えることの大切さに気づき、自分も相手も大切にしようとする態度を育てる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要  ① これまでの経験から、友だちとの日常の会話の中で自分の思いが伝わらなかった場面について振り返る。 ② 3つの事例を挙げ、自分の思いを正しく相手に伝えるにはどのような言い方がよいかを考える。2人グループでロールプレイを取り入れながら、実際に言われたときの気持ちを感じられるようにする。 ・そうじ場面に来なかった友だちに対して ・順番をぬかされてしまったとき ・友だちに誘われて、断らなければならないとき ③ 今回の学習を通して、これまでの自分を振り返り、これからの生活について具体的なめあてを書き、発表する。	
ウ 連携先： 他学年・家庭	
エ 連携にむけての取組 ・わたり廊下などに、活動の様子などを掲示する。 ・日ごろの活動や取組を教室に掲示したり、学級通信に載せたりすることで発信する。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点  ・終わりの会など、振り返る機会を生活の中に設定し、自分の立てためあてや取組について振り返ったり友だち同士で確認しあったりするなど、実践化に向けて継続した取り組みになるように支援していく。	
カ 評価の方法 ・ふり返りシート      ・児童の観察	
キ 成果 ・自分の思いを正しく伝えるには、自分の気持ちを大切にしながら相手の気持ちも考慮して発言するとより伝わりやすいことが理解できた。 ・ロールプレイを取り入れることにより、実際に言われたときの気持ちをリアルに体験することができた。 ・伝え方によって相手の受け取り方が違うことに気づくことができた。	
ク 課題  ・これからも定期的に、自分たちの伝え方について振り返る時間をもつ必要がある。 ・中学年の活動にとどまらず、全校での取組に広げていきたい。	